

色石評価のための機器分析データベースの構築とその利用に関する研究(H31-32)

背景・目的

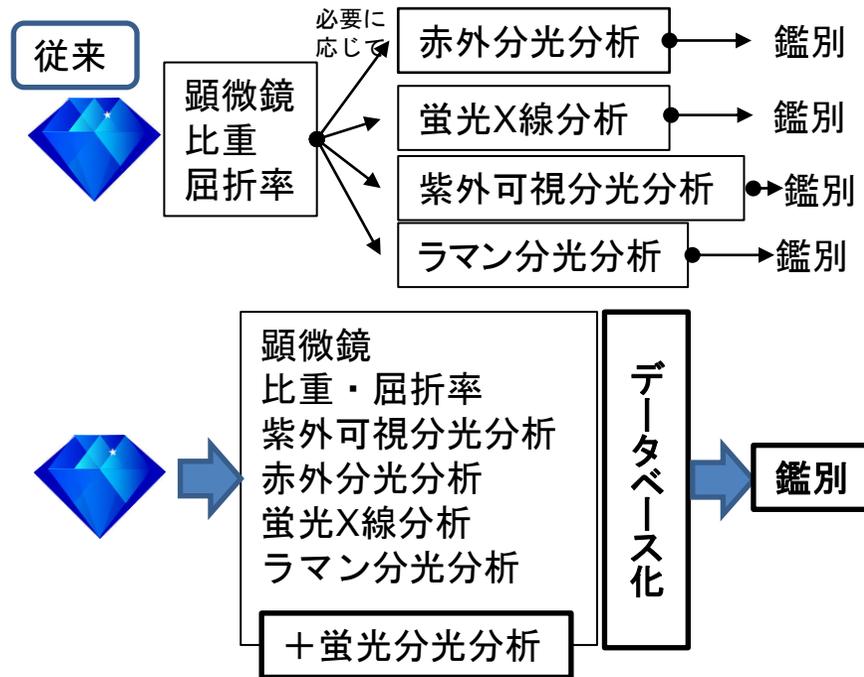
山梨の宝飾産地の特徴：ダイヤモンド以外の色石の取扱が多い

処理方法が多彩、新たな処理技術の出現
産地・鉱山による価値の違い
ダイヤモンドのような判断基準が存在しない

- ・機器分析は必要に応じて実施
- ・判別が困難な石も存在する

宝石鑑別の精度を上げるために

- ◆蛍光分光分析法について検討する
- ◆各種測定値・分析データのデータベース化
- ◆データの解析を行い、宝石鑑別に活用



研究内容

(1) 蛍光分光分析法の検討

- 励起波長と蛍光波長の関係を明らかにする

(2) データベース構築・解析

- データ保存形式の検討（解析しやすい）
- 色石のデータベース構築
- データ解析（データ間の相関関係、処理によるデータの差異など）

期待される効果

- ◆従来では鑑別が困難であった宝石や処理方法について、鑑別が可能となる
- ◆データベースを構築し、測定データを増やすことで、より精度の高い鑑別が可能となる